

未来対話—大学生・若者と作る「2050年に向けた山陰エネルギーシナリオ」

活動地域  島根県、鳥取県

つづける助成

3年目

知識の提供・普及啓発

セミナー計7回の
参加者数

190人

高校断熱改修
プロジェクト参加者数

90人

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

100%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

学校でのイベント開催は、新型コロナウイルスの影響だけでなく授業や学校のイベントの日程とも重ならないようにしなければならず、計画から実行まで準備期間が十分取れなかった。

■工夫した点

断熱すると快適に過ごせるようになるということがあまり知られていない。その効果が体感できる場所を身近な場所で作れば、関心を持つ人が増えるのではないかと考えた。



島根県立高校で生徒自ら教室を断熱改修した

課題

山陰地域では、地域主体によるエネルギー事業の創出やエネルギーシフトへの機運が低調である。気候変動やエネルギー問題について自分ごととし、活動を始める人を増やしたい。

目標

自然エネルギーの利用など先進的に取り組む地域や人を増やすこと、そのための働きかけ活動をする人を増やすこと、地域の将来を考える若者がその活動を担うことを目指す。

活動内容と成果

今年度は、山陰のエネルギーの状況を可視化するとともに2050年に向けてビジョンを描く「山陰エネルギー白書」を完成させた。またワークショップやセミナーを主にオンラインで開催した。さらに、全国で5例目となる学校の断熱改修プロジェクトを実施した。これは学校の教室を生徒自ら断熱改修していくもので、生徒とともに地域の工務店など大人も一緒に汗を流して作業した。これにより断熱強化の重要性を地域の人たちに認識してもらうと同時に、今後の普及に向けて地域で検討していくことになった。



断熱改修ワーク中の窓の温度計測の様子

全助成期間の活動を振り返って

小水力発電設置や断熱改修プロジェクトなど、地域や学校など実際に多くの人の「動き」を作り出すことができた。また一過性のイベントに参加するだけでは生まれない強いつながりを作ることができた。プロジェクト終了後も、地域の人たちが次の活動をするために動き出している。まだ地域再生の良い循環が生まれているわけではないが、そのスタートを切ることができたと考えている。



地域の未来について話し合うワークショップ

島根県大田市
E-mail: office@empower-shimane.org
HP: <https://www.empower-shimane.org/>



今後の 展望

小水力発電プロジェクトでは、自分たちもやってみたくて次に続く地域が出てきた。さらに続く地域を増やすための働きかけを行う。また先行地域が次のステップとして新たなプロジェクトの検討を始めており、引き続きサポートしていく。次代を担う高校生に参加してもらうことができた。自ら計画し、実際に動くものであったので、自信につながったようである。地域作りについて若い人たちが学べるプログラムも検討していきたい。